



たとえば **ERI** アカデミー

合格のための
実戦力
を身につける

建築法令のスペシャリスト

建築主事資格を目指せ！



令和
6年

建築基準適合判定資格者検定受験対策講座

【一級建適講座】【二級建適講座】

＜＜開講のご案内＞＞

株式会社ERIアカデミー

[令和6年の新たな試み]

二級建築士試験に合格の方も受験可能な
「二級建築基準適合判定資格者検定」の
ための受験対策講座【二級建適講座】を
新設しました！



令和6年 建築基準適合判定資格者検定受検対策講座

【一級建適講座】【二級建適講座】

<<開講のご案内>>

目次

■ 開講にあたって 他	<u>p.1</u>
■ 建築基準適合判定資格者検定 受検対策講座の概要	<u>p.2</u>
■ 受講手数料	<u>p.2</u>
■ 受講申込みについて	<u>p.3</u>
■ 受講コースの流れ	<u>p.3</u>
■ 一級建適講座 受講コースの概要	<u>p.4</u>
■ 二級建適講座 受講コースの概要	<u>p.6</u>
■ その他 共通事項	<u>p.8</u>
■ 建築基準適合判定資格者検定の 受検資格について	<u>p.10</u>
■ 受講期間中に必要なもの	<u>p.10</u>
■ 受講申込みの際の確認事項	<u>p.10</u>
■ Q & A	<u>p.11</u>

■開講にあたって

建築基準適合判定資格者は、特定行政庁や指定確認検査機関において、それぞれ建築主事や確認検査員として、建築士の設計に係る建築物の法適合性の確認を行うことが主な役割となっています。そのため一般的には、建築主事資格と呼ばれることがあります。令和6年4月1日の建築基準適合判定資格者制度改正により、これまでの「建築基準適合判定資格者」は一級建築基準適合判定資格者と位置付けられ、新たに二級建築基準適合判定資格者が創設されます。一級建築基準適合判定資格者検定または二級建築基準適合判定資格者検定(以下、「本検定」という。)に合格し、かつ2年以上の所定の実務経験を有するものは、当該資格者として登録することができることとなります。

当講座は、この本検定の合格を目指す受講者本人の、明確な学習意欲と自主性を重視した講座です。

カリキュラム等に従い、最後まで前向きに自己学習に励むことができる方を受講の対象としています。そのため、受講者の皆さんには、所定のカリキュラム等に欠席することなく参加すること、課題提出等がある場合は所定の提出期限を守ること、合格に向けての自己学習を行うことなどをお願いしています。

当講座では、当社作成の演習課題をテスト形式で実施するなど、本検定に向けての実戦感覚を養います。

集合演習コースの集合講習では、本番に近い環境で課題演習に取り組むほか、講師によるライブ講義を行います。自宅演習コースでは、自身のご都合に合わせて課題演習に取り組むことができるよう演習課題等の資料を毎月お届けします。また演習解説動画のオンデマンド配信も行います。

講座全体をとおして、確認審査・検査の経験や講師経験の豊富な講師陣が、答案の採点・添削等により受講者の皆さんをサポートします。令和6年の本検定合格を目指して共に頑張りましょう。

■日本ERIの社内研修で蓄積したノウハウの活用

当社のグループ企業である日本ERIでは創設以来、社内の技術者を対象とした建築基準適合判定資格者の育成に努めており、これまで多くの受検合格者を輩出して参りました。当社では、それまでの日本ERIにおける社内研修により培った研修ノウハウをベースにカリキュラムを作成しております。

当講座における受講者の合格率は例年、全国の合格率(国土交通省発表)を大きく上回っております。

■当講座の受講者支援について

合格を目指すためには受講者の自己学習が前提であり必須となりますが、確認審査・検査の経験や講師経験の豊富な講師陣が、答案の採点・添削の結果等を踏まえ、学習における疑問や自己学習の方向性等について広範囲にサポートします。

■課題演習の実施に役立つ動画配信

充実した動画配信サービスを行います。講座開講後は、課題演習の実施に向けた基礎知識を養うための「法令学習動画」等をオンデマンド配信します。また、課題演習を有効なものとするため、実施後の復習時に視聴できる「解説動画」をオンデマンド配信します。

「法令学習動画」では、考査A・考査Bに共通する集団規定・単体規定の基礎を学習します。「解説動画」では、実施した課題の中で特に間違いやすい部分について、計画概要や図面の見方などのポイントを解説します。

■制度改正に対応した2つの講座を開設

New!

従来の建築基準適合判定資格者検定受検対策講座(一級建適講座)に加え、新たに二級建適講座を開設します。これまでの本検定と同様の形式を想定した内容で実施する予定です。

■ 建築基準適合判定資格者検定受検対策講座の概要

【一級建適講座】 ※一級建築基準適合判定資格者検定の受検対策のための講座です。

名称	集合演習コース		自宅演習コース
受講期間	2024年2月～8月		
概要	月1回程度、集合形式の講習で実施する課題演習やその解説講義、練習問題等を利用しての自己学習等を通して、法令知識を身につけることをサポートします。		月1回程度、当社から送付する演習課題を自己管理のもとで実施し、提出いただいた答案の採点・添削を通して、自宅等での学習をサポートします。
受講場所	スタートアップ講習(2月)	東京会場: 家の光会館 https://www.ienhokariss.co.jp/bld/access/ 大阪会場: 新大阪丸ビル別館 https://merinoria.co.jp/bekkan/	自宅等での課題演習(4～7月)が基本となりますが、集合演習コースと合同で開催するスタートアップ講習(2月)、模擬テスト(7月)および直前対策講習(8月)に参加できます。
	課題演習(4～6月)	東京/大阪の各会場	
	模擬テスト(7月)		
	直前対策講習(8月)		
	課題演習(7月)	自宅等で課題演習を行います。	

注) 2024年に行われる本検定は、前年までと内容が変わる可能性があります。

当講座は、前年までの本検定の内容に基づき実施しますので、あらかじめご了解ください。

【二級建適講座】 ※二級建築基準適合判定資格者検定の受検対策のための講座です。

New!

名称	集合演習コース		自宅演習コース
受講期間	2024年1月～6月		
概要	月1回程度、集合形式の講習で実施する課題演習やその解説講義、練習問題等を利用しての自己学習等を通して、法令知識を身につけることをサポートします。		月1回程度、当社から送付する演習課題を自己管理のもとで実施し、提出いただいた答案の採点・添削を通して、自宅等での学習をサポートします。
受講場所	スタートアップ講習(1月)	東京会場: 連合会館 https://rengokaikan.jp/access/ 大阪会場: 新大阪丸ビル別館 https://merinoria.co.jp/bekkan/	自宅等での課題演習(2～5月)が基本となりますが、集合演習コースと合同で開催するスタートアップ講習(1月)、模擬テスト(5月)および直前対策講習(6月)に参加できます。
	課題演習(2～4月)	東京/大阪の各会場	
	模擬テスト(5月)		
	直前対策講習(6月)		
	課題演習(5月)	自宅等で課題演習を行います。	

注) 二級建築基準適合判定資格者検定は、令和6年より新しく始まる検定です。当講座は、前年までの(一級)建築基準適合判定資格者検定と同様の形式を想定した内容で実施しますので、あらかじめご了解ください。

■ 受講手数料

受講コース		受講手数料*
一級建適講座	集合演習コース	310,000円 (税込価格 341,000円)
	自宅演習コース	290,000円 (税込価格 319,000円)
二級建適講座	集合演習コース	220,000円 (税込価格 242,000円)
	自宅演習コース	200,000円 (税込価格 220,000円)

- ※ 受講手数料には、スタートアップ講習、模擬テスト、直前対策講習への参加が含まれます。(別途申込み不要)
- ※ 会場までの移動に要する交通費や駐車場料金、食事代等は含まれません。
- ※ 振込手数料は受講者負担とさせていただきます。
- ※ 当講座は、日本建築行政会議資格取得講習会等助成事業の助成対象となっています(昨年実績)。(助成条件に関しては、助成事業実施機関へご確認ください。)

■受講申込みについて

当社が実施する建築基準適合判定資格者検定受検対策講座は、本検定の合格を目指す方のための講座です。合格するためには、各自の明確な学習意欲に基づく自主性が必要であり、当講座では個々の学習意欲を効率的に支援し、協力して目標を達成することを目指します。

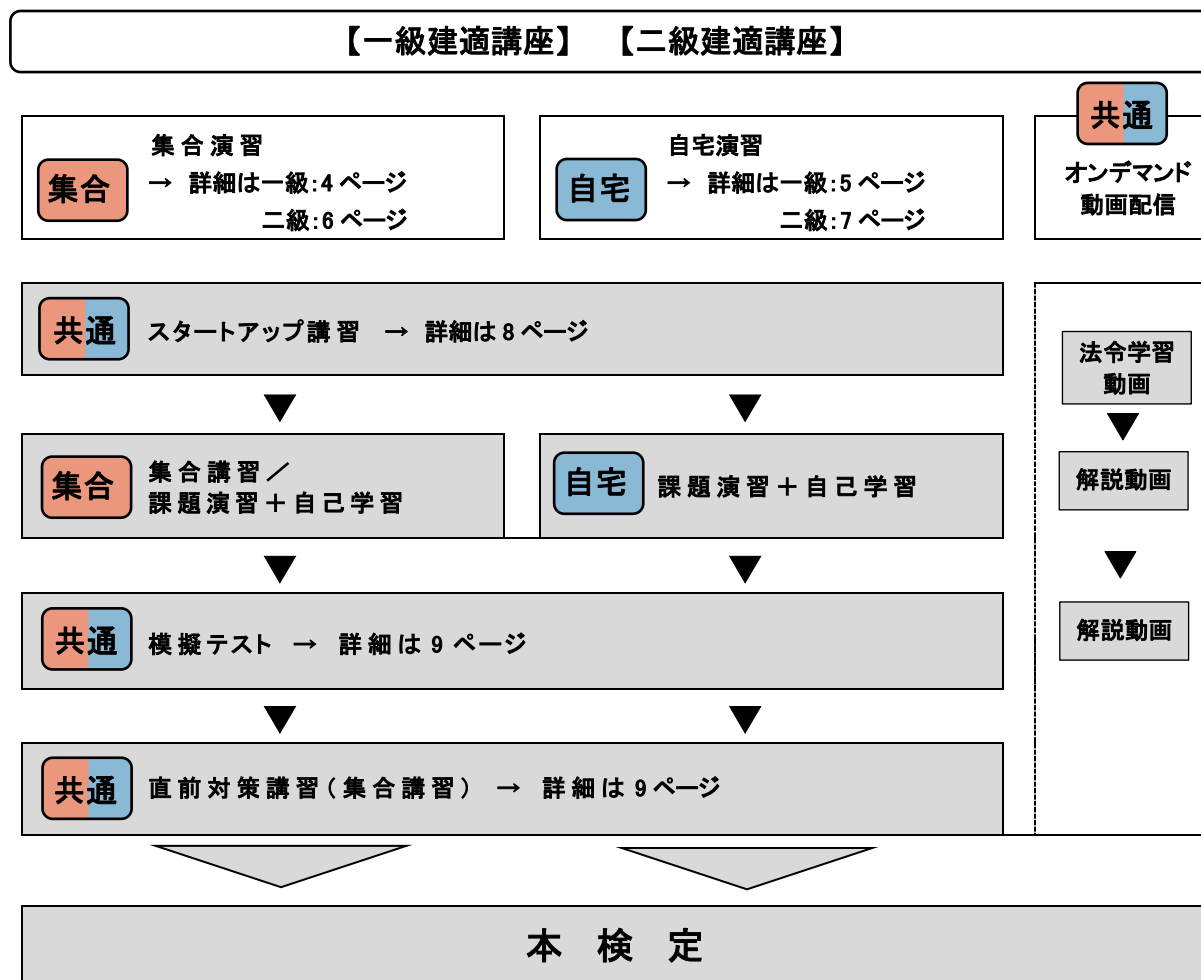
受講に際しては、「開講のご案内」により、当講座の内容をよくご理解いただいたうえでお申込みくださいますようお願いいたします。

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。お申込み方法の詳細等については、別冊「受講申込要領」をご参照ください。

※当講座の内容を正しく理解のうえ受講していただくため、ご不明な点は遠慮なく事務局へお問合せください。

■受講コースの流れ

当講座では、合格に向け効果的に受講していただくために、受講者各自の環境等を考慮し、集合形式の講習を中心とした「集合演習コース」と課題の郵送等による添削を中心とした「自宅演習コース」を設定しています。



■一級建適講座 受講コースの概要

集合

集合演習コース

～ 演習実施と解説講義を中心とした集合講習に参加するコース ～

集合形式の講習をメインとしたコースです。

- ・ 4月から6月は集合講習で、7月は自宅等で課題演習を実施し、模擬テストを経て、8月の直前対策講習で最後の仕上げをします。
- ・ 集合講習と自宅等での課題演習では各回、本検定の科目ごとにカリキュラムを設定し、集合講習ではテスト形式の課題演習実施と解答解説などの講義を行います。
- ・ 集合講習では、他の受講者と一緒に所定の時間制限の中で演習課題を解くなど、普段体験できない緊張感のある場を提供することで、本検定に向けての実戦感覚を鍛えます。
- ・ 講義では、補足資料等を適宜配付し、受講者の理解を促します。
- ・ 演習課題の添削結果等を集計・フィードバックし、受講者の自己学習をサポートします。
- ・ 集合講習と自宅等での課題演習で使用する演習課題のほかに、自己学習用の練習問題を配付します。
- ・ 課題演習の実施に向けた基礎知識を養うための「法令学習動画」等を配信します。
- ・ 4月から7月の課題演習実施後の復習用に解説動画を配信します。

日程（予定）

内容	日時・場所等
スタートアップ講習(集合講習) 学習方法の説明、 問題演習の実施等	2月14日(水) (13:00～17:30) 東京会場(家の光会館) 2月16日(金) (13:00～17:30) 大阪会場(新大阪丸ビル別館) ・自宅演習コースと合同で開催します。
自己学習/オンデマンド配信	・各自にて、法令知識の自己学習を行ってください。
集合講習	4月12日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 4月15日(月) (13:00～17:30) 東京会場
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
集合講習	5月10日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 5月13日(月) (13:00～17:30) 東京会場
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
集合講習	6月7日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 6月10日(月) (13:00～17:30) 東京会場
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	6月下旬～7月上旬 郵送による演習課題の配付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
模擬テスト	7月20日(土) (10:00～16:00) ・東京/大阪 の各会場 ・自宅演習コースと合同で開催します。
直前対策講習(集合講習)	8月7日(水) (13:00～17:30) 東京会場 8月9日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 ・自宅演習コースと合同で開催します。

注1) 集合講習は13時開始となりますので、昼食等は事前にお済ませのうえお集まりください。

注2) 内容および日時等は、変更する場合があります。4月以降の会場は、講座開始後に別途お知らせします。

自宅**自宅演習コース**

～ ご自宅などでの意欲的な自己学習を、課題送付と採点・添削でサポート ～

課題の郵送等による添削形式に解説動画を組み合わせたコースです。

- ・ 月1回程度、送付する演習課題を、自宅等で自己管理のもと所定の手順により実施し、答案を所定の期日までに提出していただきます。
- ・ 提出された答案は当社で採点・添削し、コメント・アドバイス等を添えて受講者に返却します。
(添削答案の返却時期は、答案提出の締切日から約3週間後になります。)
- ・ スタートアップ講習(2月)、模擬テスト(7月)および直前対策講習(8月)にご参加いただけます。
- ・ 課題演習で使用する演習課題のほかに、自己学習用の練習問題を配付します。
- ・ 集合講習での講義に用いた補足資料等を適宜配付し、受講者の理解を促します。
- ・ 課題演習の実施に向けた基礎知識を養うための「法令学習動画」等を配信します。
- ・ 4月から7月の課題演習実施後の復習用に解説動画を配信します。

※ 自宅演習では、受講者の自主的な学習意欲が特に重要です。受講期間中の自己管理をお願いします。

日 程 (予定)

内 容	日時・場所等
スタートアップ講習(集合講習) 学習方法の説明、 問題演習の実施等	2月14日(水) (13:00～17:30) 東京会場(家の光会館) 2月16日(金) (13:00～17:30) 大阪会場(新大阪丸ビル別館) ・集合演習コースと合同で開催します。
自己学習/オンデマンド配信	・各自にて、法令知識の自己学習を行ってください。
課題演習	4月中旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	5月中旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	6月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	6月下旬～7月上旬 郵送による演習課題の配付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
模擬テスト	7月20日(土) (10:00～16:00) ・東京/大阪 の各会場 ・集合演習コースと合同で開催します。
直前対策講習(集合講習)	8月7日(水) (13:00～17:30) 東京会場 8月9日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 ・集合演習コースと合同で開催します。

注1) 集合講習は13時開始となりますので、昼食等は事前にお済ませのうえお集まりください。

注2) 内容および日時等は、変更する場合があります。7月・8月の会場は、講座開始後に別途お知らせします。

■二級建適講座 受講コースの概要

集合

集合演習コース

～ 演習実施と解説講義を中心とした集合講習に参加するコース ～

集合形式の講習をメインとしたコースです。

- ・ 2月から4月は集合講習で、5月は自宅等で課題演習を実施し、模擬テストを経て、6月の直前対策講習で最後の仕上げをします。
- ・ 集合講習と自宅等での課題演習では各回、本検定の科目ごとにカリキュラムを設定し、集合講習ではテスト形式の課題演習実施と解答解説などの講義を行います。
- ・ 集合講習では、他の受講者と一緒に所定の時間制限の中で演習課題を解くなど、普段体験できない緊張感のある場を提供することで、本検定に向けての実戦感覚を鍛えます。
- ・ 講義では、補足資料等を適宜配付し、受講者の理解を促します。
- ・ 演習課題の添削結果等を集計・フィードバックし、受講者の自己学習をサポートします。
- ・ 集合講習と自宅等での課題演習で使用する演習課題のほかに、自己学習用の練習問題を配付します。
- ・ 課題演習の実施に向けた基礎知識を養うための「法令学習動画」等を配信します。
- ・ 2月から5月の課題演習実施後の復習用に解説動画を配信します。

日 程 (予定)

内 容	日時・場所等
スタートアップ講習(集合講習) 学習方法の説明、 問題演習の実施等	1月22日(月) (13:00～17:30) 東京会場(連合会館) 1月24日(水) (13:00～17:30) 大阪会場(新大阪丸ビル別館) ・自宅演習コースと合同で開催します。
自己学習/オンデマンド配信	・各自にて、法令知識の自己学習を行ってください。
集合講習	2月26日(月) (13:00～17:30) 東京会場 2月29日(木) (13:00～17:30) 大阪会場
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
集合講習	3月27日(水) (13:00～17:30) 東京会場 3月29日(金) (13:00～17:30) 大阪会場
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
集合講習	4月23日(火) (13:00～17:30) 東京会場 4月26日(金) (13:00～17:30) 大阪会場
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	5月中旬 郵送による演習課題の配付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
模擬テスト	5月25日(土) (実施時間 未定) ・東京/大阪 の各会場 ・自宅演習コースと合同で開催します。
直前対策講習(集合講習)	6月12日(水) (13:00～17:30) 東京会場 6月14日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 ・自宅演習コースと合同で開催します。

注1) 集合講習は13時開始となりますので、昼食等は事前にお済ませのうえお集まりください。

注2) 内容および日時等は、変更する場合があります。2月以降の会場は、講座開始後に別途お知らせします。

自宅**自宅演習コース**

～ ご自宅などでの意欲的な自己学習を、課題送付と採点・添削でサポート～

課題の郵送等による添削形式に解説動画を組み合わせたコースです。

- ・ 月1回程度、送付する演習課題を、自宅等で自己管理のもと所定の手順により実施し、答案を所定の期日までに提出していただきます。
- ・ 提出された答案は当社で採点・添削し、コメント・アドバイス等を添えて受講者に返却します。
(添削答案の返却時期は、答案提出の締切日から約3週間後になります。)
- ・ スタートアップ講習(1月)、模擬テスト(5月)および直前対策講習(6月)にご参加いただけます。
- ・ 課題演習で使用する演習課題のほかに、自己学習用の練習問題を配付します。
- ・ 集合講習での講義に用いた補足資料等を適宜配付し、受講者の理解を促します。
- ・ 課題演習の実施に向けた基礎知識を養うための「法令学習動画」等を配信します。
- ・ 2月から5月の課題演習実施後の復習用に解説動画を配信します。

※ 自宅演習では、受講者の自主的な学習意欲が特に重要です。受講期間中の自己管理をお願いします。

日 程 (予定)

内 容	日 時・場 所 等
スタートアップ講習(集合講習) 学習方法の説明、 問題演習の実施等	1月22日(月) (13:00～17:30) 東京会場(連合会館) 1月24日(水) (13:00～17:30) 大阪会場(新大阪丸ビル別館) ・集合演習コースと合同で開催します。
自己学習/オンデマンド配信	・各自にて、法令知識の自己学習を行ってください。
課題演習	2月下旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	3月下旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	4月中旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
課題演習	5月上旬・郵送による演習課題の送付と答案提出
自己学習/オンデマンド配信	・各自、前回までの復習と次回の予習を行ってください。 ・自己学習用の練習問題を別途配付します。
模擬テスト	5月25日(土) (実施時間 未定)・東京/大阪の各会場 ・集合演習コースと合同で開催します。
直前対策講習(集合講習)	6月12日(水) (13:00～17:30) 東京会場 6月14日(金) (13:00～17:30) 大阪会場 ・集合演習コースと合同で開催します。

注1) 集合講習は13時開始となりますので、昼食等は事前にお済ませのうえお集まりください。

注2) 内容および日時等は、変更する場合があります。5月・6月の会場は、講座開始後に別途お知らせします。

■その他 共通事項

共通

スタートアップ講習

日程は、各講座 受講コース概要 をご確認ください。

開講にあたり、すべての受講者を対象とした「スタートアップ講習」にご参加いただきます。

- ・ スタートアップ講習では、本検定の概要、考査問題の傾向、学習の進め方や、当講座のサポート方法等について説明します。また、今後のスケジュールについても併せて説明します。
- ・ 当日、考査問題の傾向を把握していただくため、考査 A・考査 B より部分的に抜粋した問題の演習を行います。
- ・ 当講座を有効に活用していただくために、「集合演習コース」と「自宅演習コース」のすべての受講者にご参加いただきます。

共通

オンデマンド動画配信

～ 法令の基礎知識習得や課題演習実施後の効果的な学習をサポート ～

課題演習に向けた学習や課題演習の復習に役立つ動画を配信

- ・ 講座カリキュラムの進行に合わせて、次の内容を動画視聴(オンデマンド配信)により学習します。
 - ◆ 法令学習動画 (一級建適講座:2月下旬、二級建適講座:2月上旬)

スタートアップ講習後から始まる課題演習を前に、建築基準法の基本的な読み方や、集団規定・単体規定のうち主な規定を解説した動画を配信します。(視聴期間は、本検定終了時まで)

主な規定の解説では、それぞれの規定の概要や該当条文を確認した後、理解度チェックを行います。各回の視聴時間は30分から1時間程度を予定しています。
 - ◆ 解説動画 (一級建適講座:4月～8月、二級建適講座:2～6月)

演習課題実施後の復習時に視聴できる解説動画を配信します。実施した課題の中で特に間違いやすい部分について、計画概要や図面の見方など解答のためのポイントを解説します。

注) 配信時期の具体的な日程は、別途お知らせします。

「法令学習動画」の概要 (予定)

学習を始めるにあたって	条文を「読み解くためのコツ」「一定のルール」など
【集団規定】建築物のボリューム編	用途制限、容積率制限、建蔽率制限
【集団規定】建築物の高さ編	道路高さ制限、隣地高さ制限、北側高さ制限
【単体規定】建築物の防火編	防火区画(面積区画・高層区画・堅穴区画・異種用途区画)、界壁
【単体規定】建築物の避難編	廊下、直通階段、避難階段 など
【単体規定】大規模物販店舗編	避難階段の設置、避難階段等の幅、屋外への出口の幅
【単体規定】建築設備編	排煙設備、非常用の照明装置

共通

模擬テスト

日程は、各講座 受講コース概要 をご確認ください。

本検定受検の前に、本検定当日と同じ時間割による全科目の模擬テストを実施します。

- ・ 講座受講や各自の自己学習による学習進度、法令知識等を総合的に確認するために実施します。
- ・ 本検定と同様の時間割で緊張感をもって全科目の演習課題に取り組むことで、本検定の事前体験ができます。
- ・ 問題はすべて当講座作成のオリジナルです。
※出題範囲は、前年の本検定と概ね同じです(一級建適講座の場合)。
- ・ 「集合演習コース」と「自宅演習コース」の合同での開催となります。
- ・ 開催する会場は、決まり次第、ご案内します。

注1) 内容の詳細等は、受講期間中に別途お知らせします。

注2) 集合演習コース・自宅演習コースの受講者以外に「模擬テスト」の参加者を別途募集します。募集内容や会場等の詳細については決まり次第、当社のホームページ等でご案内します。

共通

直前対策講習

日程は、各講座 受講コース概要 をご確認ください。

模擬テストの解答解説を中心とした集合講習を実施します。

- ・ 模擬テストの解答解説と対策講義などを中心に行います。
- ・ 「集合演習コース」と「自宅演習コース」の合同での開催となります。

注) 内容の詳細等は、受講期間中に別途お知らせします。

■ 建築基準適合判定資格者検定の受検資格について

本検定を受検するためには、令和6年4月1日改正後の建築基準法第5条第5項および第6項に定める受検資格が必要です。一級建築基準適合判定資格者検定は「一級建築士試験に合格した者」、二級建築基準適合判定資格者検定は「一級建築士試験又は二級建築士試験に合格した者」となります。

■ 受講期間中に必要なもの

当講座で使用する問題・資料類は当社で用意し、カリキュラムごとに配付しますが、法令集や筆記用具等は受講者各自でご用意ください。

受講証	受講手続き完了後に当社より電子メールにて受講証をお送りします。集合講習当日は、受講証をご持参ください。
建築関係法令集	本検定の会場に持ち込むことができるものをご用意ください。
筆記用具	HB程度の鉛筆・シャープペンシル、消しゴム等
卓上計算機	本検定の会場に持ち込むことができるものをご用意ください。

■ 受講申込みに際しての確認事項

合格するために必要な「実戦力」を身につけることを目指します

受講期間を通して所定のカリキュラム等に必ず参加すること、課題提出等がある場合は所定の提出期限を守ること、自宅等での自己学習を自主的に行うこと等をお願いします。

建築基準法等の法令知識の自己学習(予習・復習)は必須条件です

当講座は“合格虎の巻”のような教科書本等を使って説明するような形式ではありません。

受講に際して必要な建築基準法等に関する知識の研鑽は、あくまでも受講者各自の自己学習が基本となります。建築基準法や関係法令等の正しい知識が、本検定での合格への基礎となります。

集合演習コースの集合講習では、課題演習の実施や必要な法令のポイント解説を中心に行いますので、法令知識の自己学習(予習・復習)が必須となります。

自宅演習コースも同様に、自己学習(予習・復習)を前提とし、課題演習はその理解度を確保するためのものであり、添削内容を次のステップに活用することが基本となります。

普段とは違う環境を提供することで、合格へ向けてのステップアップへと繋がります

当講座では、「集合演習コース」「自宅演習コース」共に、本検定に準じた問題を独自に作成しています。演習課題の解答解説および補足資料等は、カリキュラムに基づき随時配付します。

「曖昧な法令知識」や「過去問の反復」に頼った学習では真のレベルアップはできません。自己学習による知識をもとに、従来の学習方法では得られない「集合講習」や「添削」による普段とは違う新しい学習環境を提供します。

【免責事項】

地震、台風、津波その他の自然災害、火災、戦争、テロ、ストライキ、重大な疾病、輸送機関・通信回線の事故その他やむを得ない事情により集合講習等を中止することとなった場合、各コースの実施方法を変更することで代えさせていただきます。

【動画の視聴についての注意点】

- ・動画を視聴するには、最新バージョンのブラウザが使用でき、インターネット接続が良好に行えることが必要です。
- ・スマートフォンによる視聴では、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求が生じる場合がありますので特にご注意ください。

■ Q & A

Q	【一級建適講座】【二級建適講座】の受講要件はありますか？
A	受講に際して特に要件は設けておりませんが、一級建築基準適合判定資格者検定の受検要件は「一級建築士試験に合格」、二級建築基準適合判定資格者検定の受検要件は「一級建築士試験に合格」又は「二級建築士試験に合格」となっていることから、ご自身が保有されている資格や業務内容に応じた講座の受講をお勧めします。
Q	早期に講座を開講するのはなぜですか。
A	建築基準適合判定資格者検定合格のためには少しでも早い受検対策が必要であり、スタートアップ講習を機に自己学習を始めることが、合格への第一歩であると考えています。 スタートアップ講習では、講座全体の流れやスケジュール、同検定の内容等を説明するほか、部分的な問題演習などを通じ、問題の読み方や解答の書き方の基本を説明します。本格的な課題演習が始まる前に十分な基礎学習を行うことが受検対策として重要となります。当講座の受講を有効なものにするために、開講後は速やかに自己学習をスタートさせてください。
Q	普段の業務では馴染みのない法令等に関して、基礎的なことから学習できますか。
A	当講座のカリキュラムは、課題演習を通して建築基準適合判定資格者検定での合格に必要な法令知識や実戦力を身につけることを目的としています。法令に関する基礎的な知識の学習は、法令集や参考書などを活用して受講者ご自身にて行っていただくことが基本となりますが、課題演習を効果的なものとするため、開講以降、順次基本的な法令について解説した法令学習動画を配信します。基本的な法令を理解したうえで課題演習に臨んでください。
Q	講座で使用する問題や資料にはどのようなものがありますか。
A	使用する問題や資料は、建築基準適合判定資格者検定の内容に準じて弊社で作成した「演習課題」と「練習問題」というオリジナル問題が中心となります。また、法令理解のための補足資料なども配付します。なお、自己学習において法令に関する基礎的な知識を身につける際には、法令集と併せて市販の参考書や解説書等を活用することも有効です。
Q	集合演習コースと自宅演習コースでは、問題や配付資料等に違いはありますか。
A	問題や配付資料には、コースによる違いはありませんが、集合演習コースでは、配付を行わない映写のみの資料を用いることがあります。
Q	受講手数料について、助成制度の対象になりますか。
A	当講座は、日本建築行政会議資格取得講習会等助成事業の助成対象講座となっています（昨年実績）。（助成条件に関しては助成事業実施機関へご確認ください。）

お問合せ先

株式会社ERIアカデミー 建築基準適合判定資格者検定受検対策講座 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-10-24 住友不動産青山ビル南館 1階

E-mail: kenteki@a-eri.co.jp URL: <https://www.a-eri.co.jp/>

TEL: 03-5775-7848(平日 9:00-17:00) FAX: 03-5474-1007